

# 避難確保計画作成の手引き

令和4年5月  
防災対策課

# 目次

1. 要配慮者利用施設における避難確保の重要性
2. 災害の種類
3. 災害リスクの把握
4. 避難先の選定における留意点
5. 避難開始のタイミングの考え方
6. 防災気象情報や避難情報の収集

## 【 参考資料 】

7. 施設における防災体制の例
8. 総括指揮者の役割の例
9. 情報連絡班の役割の例
10. 避難誘導班の役割の例
11. 装備品等準備班の役割の例
12. 避難訓練の種類
13. 避難訓練における留意点
14. タイムラインの作成と活用

# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

【避難確保計画の作成と訓練の義務】

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域に位置し、地域防災計画に定められた施設には、洪水・高潮・土砂災害に対する**避難確保計画**を作成し、**市（所管課）**に報告することが義務付けられています。
- **施設は訓練を実施**し、結果を**市（所管課）**に報告することが義務付けられています。なお、施設からの報告については令和5年度からの運用を考えています。

施設管理者

- 避難確保計画の作成
- 避難訓練の実施



【ポイント】

既存の非常災害対策計画や消防計画、学校の危機管理マニュアル等と一体的に作成することが可能です。

市（所管課）

- ・ 避難確保計画の報告
- ・ 訓練結果の報告

〇〇防災課



助言・勧告等



# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

【平成28年8月台風第10号におけるグループホーム楽ん楽ん（岩手県岩泉町）の被害】

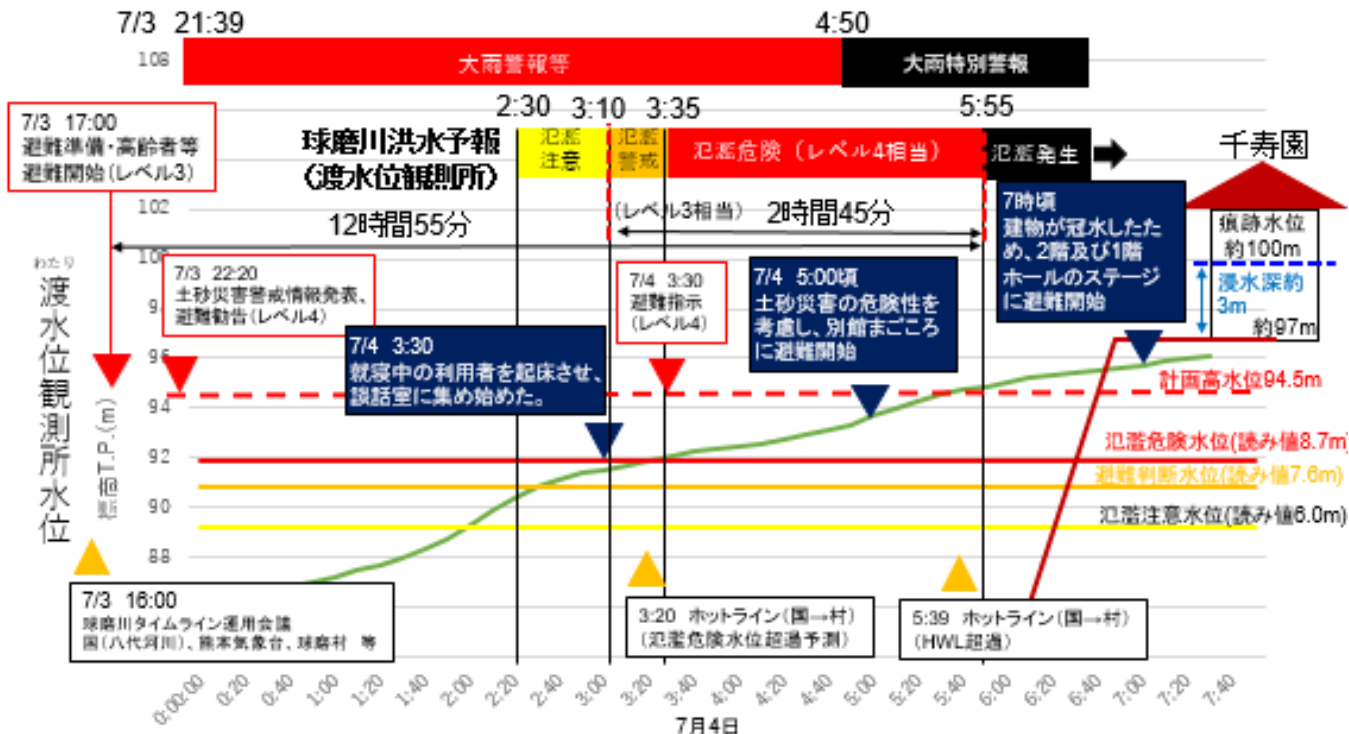
- グループホーム楽ん楽んでは、逃げ遅れにより利用者9名が亡くなる被害が発生しました。
- 施設の職員は、避難準備情報（現在：高齢者等避難）が発令されたことを知っていましたが、避難に時間がかかる高齢者が避難を始めるタイミングとは認識していませんでした。
- 施設は普段から避難訓練を実施していましたが、水害は想定していませんでした。



# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

【令和2年7月における豪雨特別養護老人ホーム千寿園（熊本県球磨村）の被害】

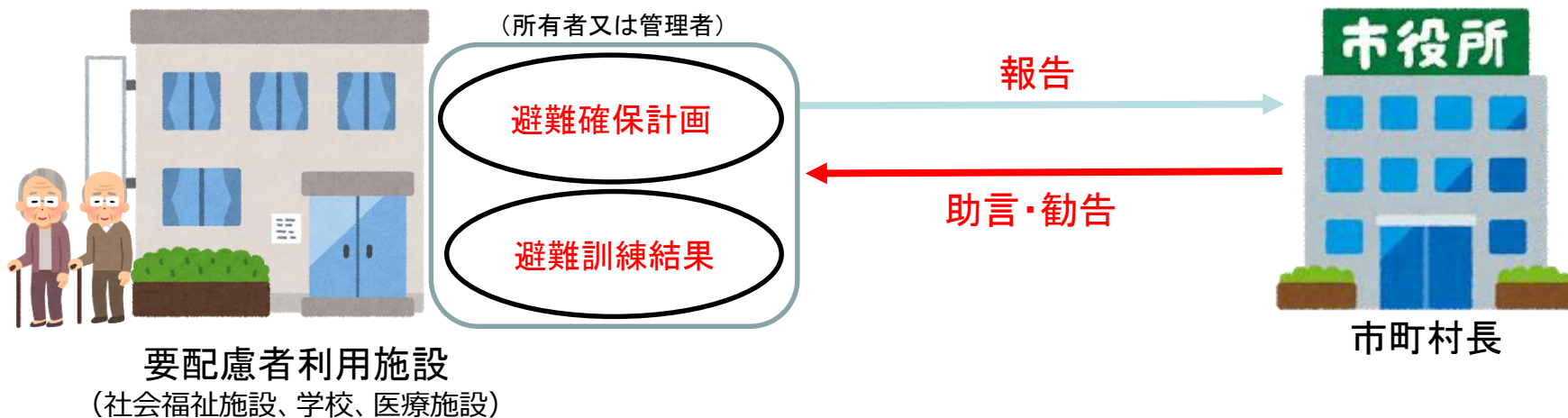
- 特別養護老人ホーム千寿園では、施設の1階が浸水し、利用者65名のうち14名が亡くなる被害が発生しました。
- 施設は、避難計画を作成し訓練を実施していましたが、**これまで浸水被害が無かったことから、土砂災害は警戒していたものの、大きな水害が発生することは想定していませんでした。**



# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

【避難確保計画の作成と訓練の実施】

- 岩手県岩泉町の被災を受けて、平成29年に水防法と土砂災害防止法が改正され、市町村の地域防災計画に位置づけられた高齢者施設等の要配慮者利用施設は、**避難確保計画の作成と市町村への報告、避難訓練の実施**が義務づけられました。
- 熊本県球磨村の被災を受けて、令和3年に水防法と土砂災害防止法が改正され、**市町村への訓練結果の報告**が義務づけられ、避難確保計画や訓練結果の報告を受けた**市町村が管理者等に対して助言・勧告**する支援制度が創設されました。



# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

【特別養護老人ホーム川越キングスガーデン（埼玉県川越市）の成功事例】

- 特別養護老人ホーム川越キングスガーデンでは、平成10年の水害経験を踏まえ、**避難確保計画を作成し、毎年、避難訓練を実施**していました。
- 令和元年10月の台風第19号では、避難確保計画や避難訓練で得たノウハウを活かして迅速に避難行動をとり、**利用者や職員が無事に避難**できました。

## 川越キングスガーデンの対応

12日 10時頃 重篤患者の移動、避難の準備開始  
職員24人待機、水位・雨量情報収集

13日 2時頃 避難開始、川越市に避難開始の報告

氾濫 越辺川の破堤

13日 4時頃 避難完了、川越市へ報告

13日 夕方 警察等により、近傍の避難所へ全員避難



スロープ・階段によりC棟(2階)へ避難



# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

【特別養護老人ホーム平成の杜（静岡県小山町）の成功事例】

- 特別養護老人ホーム平成の杜は、土砂災害警戒区域内にあるため、**避難確保計画を作成し、日頃から避難訓練を実施**していました。
- 令和元年10月の台風第19号では、職員が利用者を2階へ移動させた後、土石流が施設の1階部分に流入しましたが、**利用者や職員は無事に難を逃れました。**

## 特別養護老人ホームの対応

午前 10:37 土砂災害警戒情報発表

午前 11:00 避難勧告発令

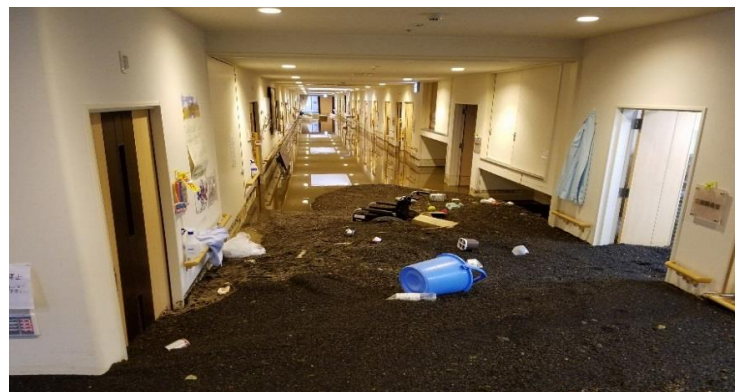
午後 1:15 避難指示発令

午後 7:30頃 近隣住民からの声かけ  
入居者・職員全員2階へ移動

土砂災害

午後 8:00頃 施設1階に大量に土砂が流入

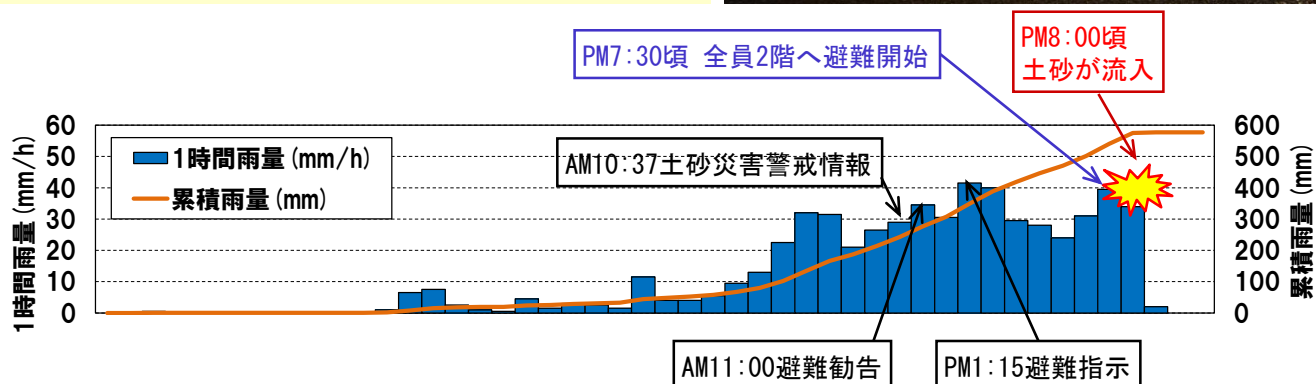
施設長の声 『**日頃から避難訓練をしていた**こともあり、  
けが人を出さずにすんでよかった』(NHK報道より)



日頃の訓練  
の成果



令和元年6月避難訓練実施状況





# 災害の種類

【洪水、雨水出水、高潮、津波】

- 大雨による災害を大きく分けると、水害と土砂災害になります。
- 大雨を起因とする水害は、比較的大きな河川が氾濫する洪水、降った雨が下水道等で排水できずに浸水する雨水出水（いわゆる内水）があります。
- 大雨を起因としない水害としては、高潮や津波があります。

## 【避難確保計画が必要な災害（令和4年度時点）】

### 洪水

大雨により川から水があふれて氾濫すること



### 雨水出水

雨水が排水施設で川に排水できずに、宅地などにあふれること



### 高潮

台風や低気圧の接近に伴い、潮位が通常よりも大きく上昇すること



平成16年9月台風18号(広島市)

### 津波

地震によって生じる海水面の盛り上がりや落ち込みによって起こる波が海岸まで押し寄せること



# 災害の種類

## 【土砂災害】

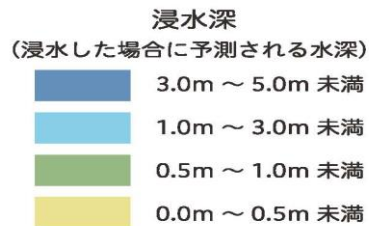
○ 土砂災害には、がけ崩れ、土石流、地すべりの3つの種類があります。

土砂災害の種類	がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり ※茅ヶ崎市には該当箇所はありません。
土砂災害の特徴	急な斜面の土砂が一瞬のうちに崩れる現象 	大雨によって崩れた土砂が水と混じって、ものすごい勢いで流れる現象 	ゆるやかな傾きの斜面が広い範囲にわたってゆっくり落ちていく現象 
災害写真	令和元年10月千葉県 	平成30年7月広島県 	令和3年7月長野県 

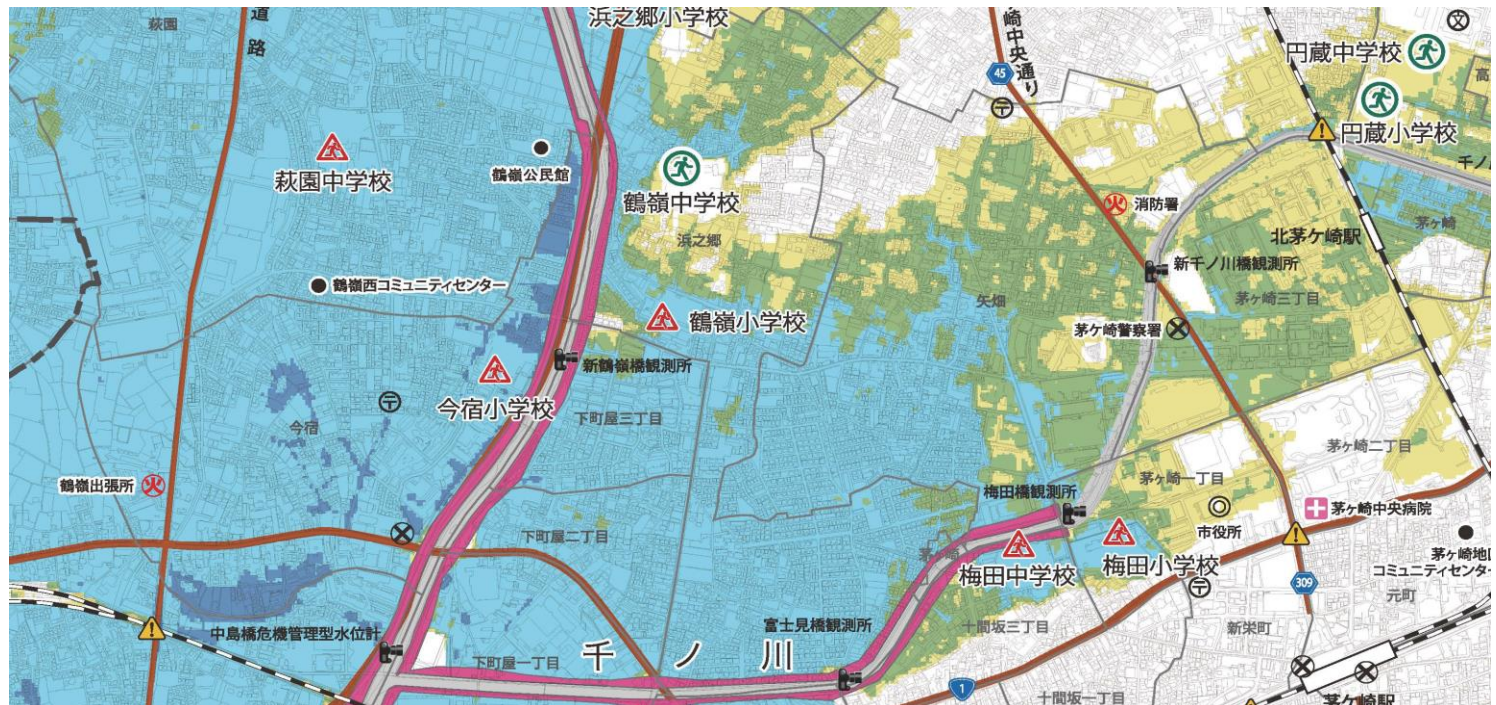
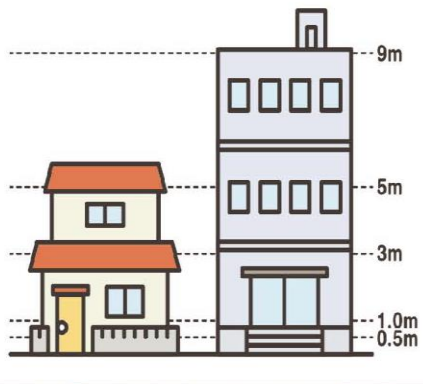
# 災害リスクの把握

【想定される浸水深（洪水、雨水出水、高潮）】

- 市が公表している洪水ハザードマップ等には、想定される浸水深が示されています。この情報は、国や都道府県が公表している洪水浸水想定区域でも確認できます。
- 浸水深が**0.5～3.0m未満の場合**は、**1階の居室が浸水**します。
- 浸水深が**3.0～5.0m未満の場合**は、**2階の居室が浸水**することになります。
- 浸水しない避難スペースがない場合には、屋内安全確保は選択できません。  
※避難には、施設内にとどまって安全を確保する「屋内安全確保」と施設外に移動する「立退き避難」があります。



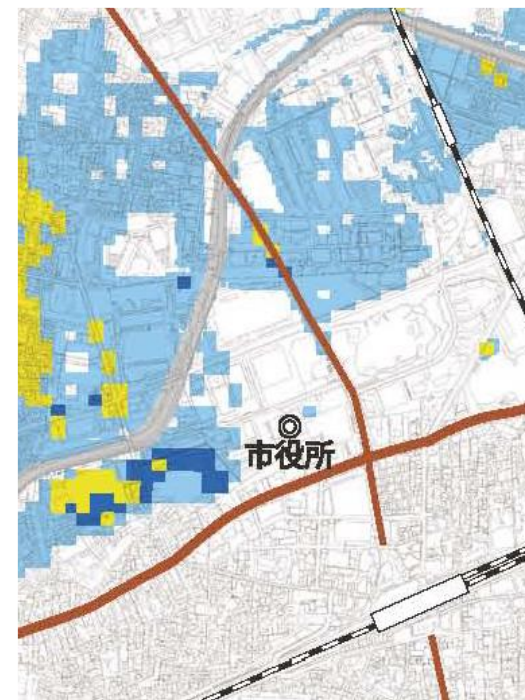
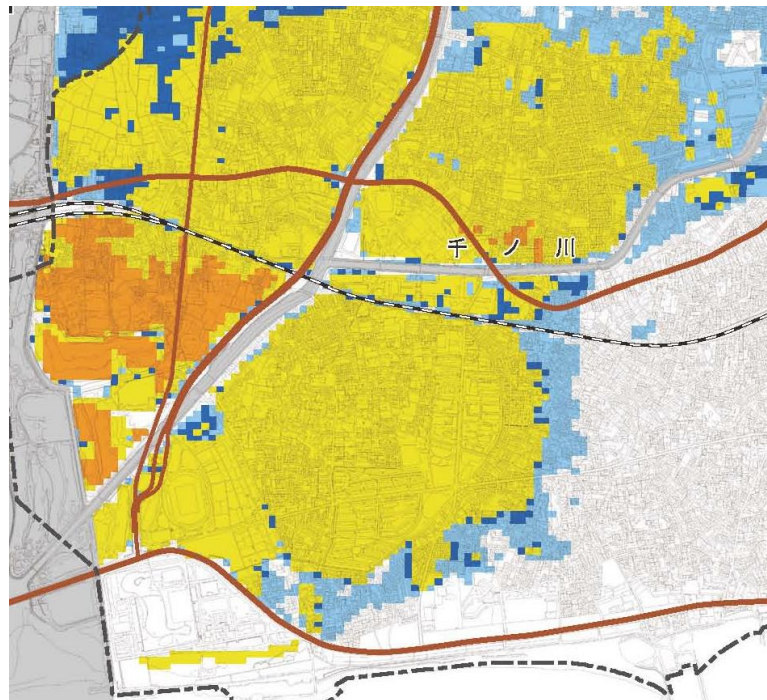
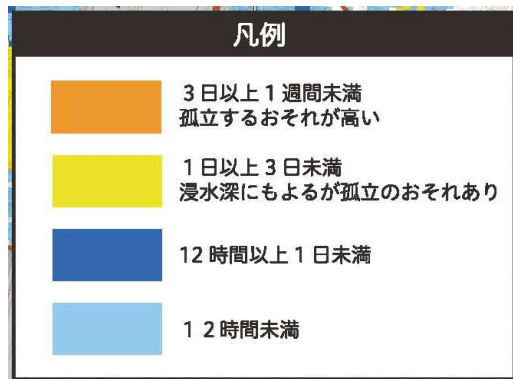
浸水の深さのイメージ



# 災害リスクの把握

【想定される浸水継続時間（洪水、雨水出水、高潮）】

- 想定される浸水継続時間は、市町村が公表しているハザードマップや国または都道府県が公表している洪水浸水想定区域で確認できます。
- **浸水継続時間が長くなると、水や食糧、薬等の確保が困難**になるおそれがあります。また、**電気やガス、水道、トイレ等の使用ができない**時間が長くなるおそれもあります。
- 屋内安全確保を選択する場合には、**浸水継続時間に応じた対策が必要**です。  
※避難には、施設内にとどまって安全を確保する「屋内安全確保」と施設外に移動する「立退き避難」があります。



# 災害リスクの把握

## 【土砂災害】



- 市町村が公表している土砂災害ハザードマップには、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域が示されています。
- 土砂災害警戒区域は、**建物内に土砂が流入してくるおそれ**のある場所です。
- 土砂災害特別警戒区域は、土砂災害が発生した場合に**建物が損壊するおそれ**がある場所です。
- この区域に該当する場合には、屋内安全確保は選択できません。

※避難には、施設内にとどまって安全を確保する「屋内安全確保」と施設外に移動する「立退き避難」があります。

**凡 例**



**土砂災害に関する情報**

**土砂災害特別警戒区域**  
土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域。一定の開発行為の制限、建築物の構造規制がある。

-  急傾斜地の崩壊  
傾斜度が30度以上ある土地が崩壊すること。いわゆる「がけ崩れ」
-  土石流  
山腹が崩壊して生じた土砂等が水と一体となって流れること。

---

**土砂災害警戒区域**  
土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域。

-  急傾斜地の崩壊
-  土石流



出典) 茅ヶ崎市洪水・土砂災害ハザードマップ

# 災害リスクの把握

【高潮】

神奈川県は、想定し得る最大規模の高潮である「高潮浸水想定区域図」（下図）を作成し、浸水が想定される区域を「高潮浸水想定区域」として令和3年8月に指定・公表しております。

詳しくは、神奈川県のホームページもしくは市のホームページ

（[トップページ](#)>[くらし](#)>[防災](#)>[防災マップ](#)>[相模灘沿岸における高潮浸水想定区域の指定](#)について）をご確認ください。

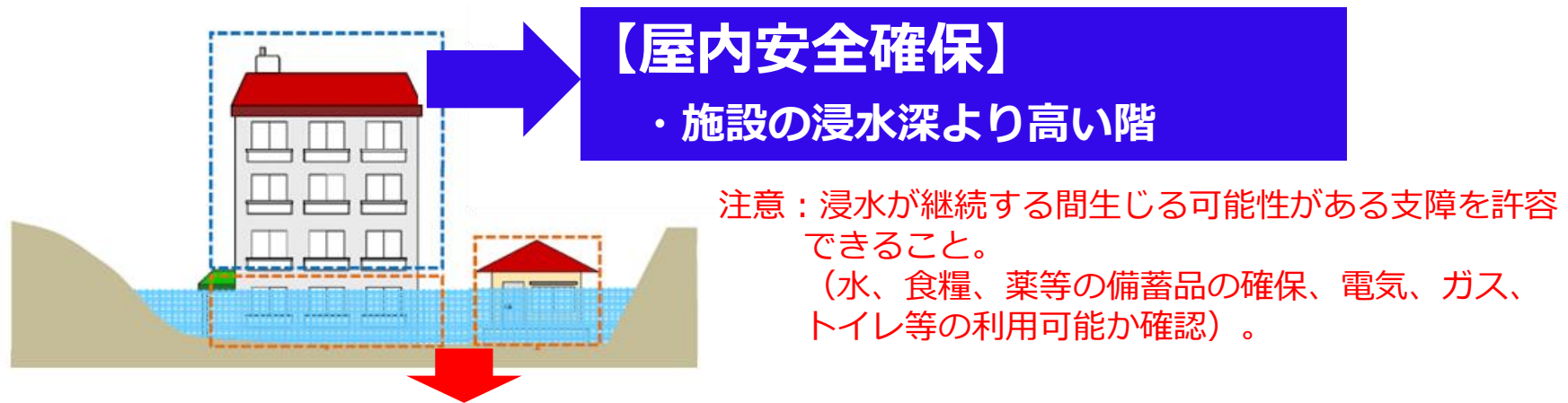


出典)神奈川県 高潮浸水想定区域図

# 避難先の選定における留意点

【立退き避難と屋内安全確保】

- 立退き避難は、浸水想定区域等の災害リスクにある場所の施設を離れ、浸水想定区域外の避難先に避難することであり、避難行動の基本です。
- 浸水想定区域等の災害リスクのある場所の施設であっても、浸水深より高い階に移動することによって、利用者の安全を確保することが可能な場合があります。こうした施設で、施設内に留まって避難するのが「屋内安全確保」です。



## 【立退き避難】

- ・系列の施設や同種・類似の施設
- ・市町村が指定する指定緊急避難場所や指定(福祉)避難所
- ・近隣の安全な場所
- ・宿泊施設

# 避難先の選定における留意点

【災害の種類に応じた避難先の選定】

- 避難先は、災害の種類に応じた場所を選定しましょう。次のページに選定フローを示しますので確認してください。

災害種類	洪水	雨水出水	
想定区域	家屋倒壊等氾濫想定区域 	浸水のおそれがある区域 	浸水のおそれがある区域 
災害種類	土砂災害	津波	高潮
想定区域	土砂災害(特別)警戒区域 	浸水のおそれがある区域 	浸水のおそれがある区域 

 このオレンジ色の災害は、家屋倒壊・流失(家ごと流される)の危険があります！



# 避難先の選定における留意点

【避難先選定フロー】



ハザードマップで施設の危険性を確認しましょう

1

施設が下記の区域に該当する

はい  いいえ

家屋倒壊等氾濫想定区域

土砂災害警戒区域  
土砂災害特別警戒区域

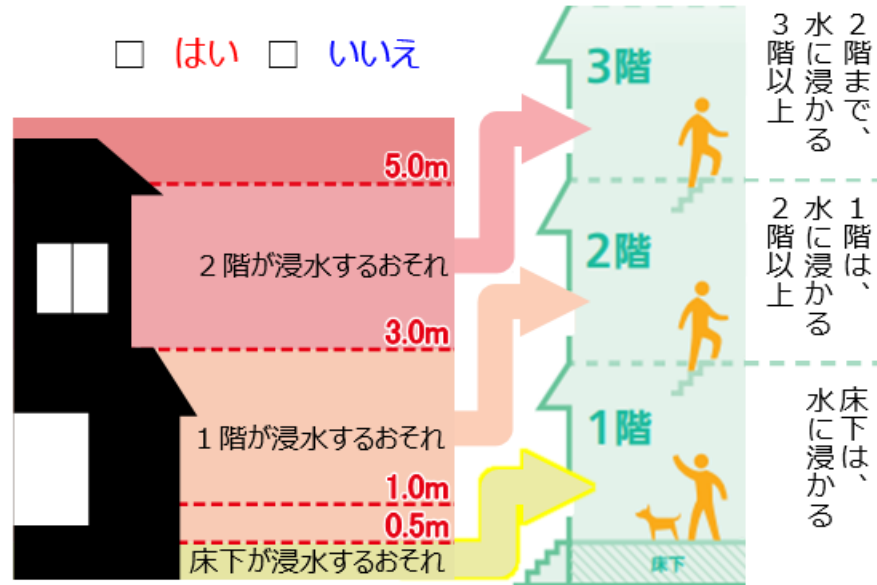
はい

施設外の避難先に  
立退き避難

2

施設の浸水深より高い所に避難スペースがある

はい  いいえ



いいえ (高い所にスペースがない)

3

浸水継続時間

避難スペースにて  
電気や通信、  
水道、トイレ等が  
使用可能である

はい  
 いいえ

はい

■ 系列の施設や  
同種・類似の施設



■ 市町村が指定する  
指定(福祉)避難所、  
指定緊急避難場所








■ 近隣の安全な場所  
■ 宿泊施設



施設内の高い所に  
屋内安全確保




# 避難開始のタイミングの考え方

- 避難開始は、原則として、市町村から警戒レベル3高齢者等避難が発令された時です。ただし、利用者全員の避難完了までに多くの時間を要する場合は、この発令を待つことなく**早めに避難を開始することが必要**です。
- また、夜間の避難は危険を伴うことから、夜間に災害の発生が切迫するおそれがある場合には、**日没までの立退き避難を完了**するようにしましょう。
- 通所型の施設の場合は、事前休業を選択することが、**利用者の安全確保につながります**。事前休業の実施基準を満たした場合は、**躊躇することなく事前休業の実施を判断することが重要**です。

警戒 レベル	1	2	3	4	5
避難 情報等	早期注意情報 (警報級の可能性)	大雨注意報 洪水注意報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
施設の 行動	情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日没までの避難完了</li> <li>● 前日の休業判断</li> </ul> 	避難開始 	避難完了 	

# 防災気象情報や避難情報の収集

- 防災気象情報や避難情報は、初動体制の確立や避難開始の判断等をするために必要なものです。
- **収集する情報の内容や入手方法、伝達する情報の内容と伝達先をあらかじめ決めて確認**しておきましょう。

種類	名称	入手手段と伝達イメージ
台風等の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■週間天気予報、天気予報</li> <li>■台風情報</li> <li>■早期注意情報</li> </ul>	<input type="checkbox"/> テレビのデータ放送 <input type="checkbox"/> ラジオ  <p>災害級の大雨が予想されています。今後の情報に注意してください。</p> <p>台風進路や大雨の予想情報を確認</p> <p>情報伝達</p> <p>台風の大雨により施設が浸水するかもしれません</p>
雨の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大雨注意報、洪水注意報</li> <li>■大雨警報、洪水警報</li> <li>■土砂災害警報情報</li> <li>■大雨特別警報</li> <li>■降水短時間雨量予測</li> <li>■キキクル(危険度分布)</li> </ul>	<input type="checkbox"/> インターネット  <p>川の水位がキケンです</p> <p>大雨や川の水位の最新情報を確認</p> <p>報告</p> <p>連絡</p> <p>避難をするので手伝ってください</p> <p>統括指揮者</p> <p>地域の避難支援者</p>
河川の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■氾濫注意情報</li> <li>■氾濫警戒情報</li> <li>■氾濫危険情報</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 防災情報メール <input type="checkbox"/> スマートフォンアプリ  <p>避難情報が発令されました</p> <p>避難情報が発令されました</p> <p>共有</p> <p>今から〇〇施設へ避難します。</p> <p>連絡</p> <p>統括指揮者</p> <p>施設関係者全員</p> <p>保護者</p>
避難の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■警戒レベル3(高齢者等避難)</li> <li>■警戒レベル4(避難指示)</li> <li>■警戒レベル5(緊急安全確保)</li> </ul>	

# 參考資料

# 施設における防災体制の例

- 利用者の円滑な避難を確保するためには、防災体制を機能的に組織する必要があります。
- 職員だけで利用者の避難支援が困難な場合には、**地域住民や利用者の家族、地元の企業等の外部の協力も得て体制を構築**しましょう。
- また、夜間や休日などに迅速に駆けつけることができる**緊急参集者も決めておく**ことが重要です。

職員一人一人が担当する内容を把握し、いざというときに対応できるようにしましょう！

- ①全体を指揮する  
「統括指揮者」



- ②情報収集や伝達を担当する  
「情報連絡班」



- ④避難に必要な設備や装備品等を  
点検し準備する「装備品等準備班」









- ③利用者の避難支援を担当する  
「避難誘導班」



# 統括指揮者の役割の例

【全体を統括する「統括指揮者」の役割】

- 統括指揮者の役割は、状況を把握し**全体を指揮**することです。
- 警戒レベル等に応じて、職員等の召集や**避難開始の判断**を行います。
- 通所施設においては、**事前休業の判断**も行います。

レベル	統括指揮者	対応イメージ
警戒レベル1 災害への心構えを高める段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況把握、指揮</li> <li>・体制確立の判断</li> <li>・<b>事前休業の判断</b></li> </ul>	<p>明日、警報が発表される可能性が高い。 高齢者等避難が発令されるかもしれない。 避難の手順を確認しておこう。</p>  <p>事前休業の判断も考えておこう！</p>
警戒レベル2 <注意体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況把握、指揮</li> <li>・<b>職員等召集</b></li> <li>・<b>(避難開始判断)</b></li> </ul>	<p>夜中に、高齢者等避難が発令されるかもしれない。 参集職員に声をかけておこう。</p>  <p>川の水位がキケンです</p> <p>情報連絡班 統括指揮者</p>  <p>施設の体制を整えてください。</p>
警戒レベル3 <警戒体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況把握、指揮</li> <li>・<b>避難開始判断</b></li> </ul>	<p>避難場所まで避難を開始します</p> 
警戒レベル4 <非常体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況把握、指揮</li> <li>・避難先での利用者支援の監督</li> <li>・(緊急安全確保の判断)</li> </ul>	<p>利用者の状況確認及び支援</p>  

# 情報連絡班の役割の例

【情報収集や伝達を担当する「情報連絡班」の役割】

○ 情報連絡班の役割は、防災気象情報や避難情報を収集し、統括指揮者や職員に情報を伝達することや、市町村等の関係機関や避難先、利用者の家族と連絡を取り合うことです。

レベル	情報連絡班	対応イメージ
<b>警戒レベル1</b> 災害への心構えを高める段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報等収集</li> <li>・職員への情報伝達</li> </ul>	<p>災害級の大雨が予想されています。今後の情報に注意してください。</p> <p>台風進路や大雨の予想情報を確認</p> <p>情報伝達</p> <p>台風の大雨により施設が浸水するかもしれません</p>
<b>警戒レベル2</b> <注意体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集</li> <li>・職員や避難支援協力者へ連絡</li> </ul>	<p>大雨や川の水位の最新情報を確認</p> <p>川の水位がキケンです</p> <p>報告</p> <p>統括指揮者</p> <p>連絡</p> <p>地域の避難支援者</p> <p>避難をするので手伝ってください</p>
<b>警戒レベル3</b> <警戒体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報、水位情報、避難情報等の収集</li> <li>・利用者家族等への連絡</li> <li>・市町村等への連絡</li> </ul>	<p>避難情報が発令されました</p> <p>避難情報が発令されました</p> <p>共有</p> <p>統括指揮者</p> <p>施設関係者全員</p> <p>連絡</p> <p>保護者</p> <p>今から〇〇施設へ避難します。</p>
<b>警戒レベル4</b> <非常体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村等への連絡</li> </ul>	<p>市役所等へ</p> <p>●●施設は系列の〇〇施設へ全員避難しました。</p>

# 避難誘導班の役割の例

【利用者の避難支援を担当する「避難誘導班」の役割】

- 避難誘導班の役割は、利用者の避難誘導を行うことです。
- 避難誘導を行うにあたって、事前に誘導方法の確認や避難ルートの確認を行います。避難完了後は、利用者の点呼も行います。




レベル	避難誘導班	対応イメージ
<b>警戒レベル1</b> 災害への心構えを高める段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(避難誘導體制の確認)</li> <li>・(避難ルートの確認)</li> </ul>	 
<b>警戒レベル2</b> <注意体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難誘導體制の確認</li> <li>・避難ルートの確認</li> <li>・(避難誘導開始)</li> </ul>	
<b>警戒レベル3</b> <警戒体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難誘導開始</li> </ul> <p style="text-align: center;">■ 立退き避難</p> 	<p style="text-align: center;">■ 屋内安全確保</p>   
<b>警戒レベル4</b> <非常体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難完了の確認</li> <li>・避難先での利用者支援</li> <li>・(緊急安全確保の誘導)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">利用者の状況確認及び支援</p>   



# 装備品等準備班の役割の例

【避難に必要な設備や装備品等を点検し準備する「装備品等準備班」の役割】

- 装備品等準備班は、避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備します。
- また、避難に必要な移動用の車両手配や避難先への持ち出し品の運搬、利用者への装備品の装着等を行います。

レベル	装備品等準備班	対応イメージ
警戒レベル1 災害への心構えを高める段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備)</li> </ul>	<p>車いすなどを確保できているか</p>  <p>必要な備蓄品は確保できているか</p> 
警戒レベル2 <注意体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備</li> <li>・移動用車両の手配</li> </ul>	<p>すぐ使えるところにあるか</p>  <p>避難に必要な車両は確保できたか</p> 
警戒レベル3 <警戒体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者への装備品の装着</li> <li>・移動用車両の確保</li> <li>・避難先への持ち出し品等を運搬</li> </ul>	<p>■ 服装の着替え</p>  <p>■ 移動の準備</p>  <p>■ リフト車への移動</p> 
警戒レベル4 <非常体制>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難先での持ち出し品等の管理</li> </ul>	<p>■ 利用者の支援に必要な薬や食料の確保・管理</p> 

# 避難訓練の種類

【立退き避難、屋内安全確保】

- 利用者を避難先に移動させる訓練としては、立退き避難訓練と屋内安全確保訓練があります。
- 立退き避難訓練は、施設外の避難先に利用者を移動させる訓練です。
- 屋内安全確保訓練は、施設の上階などに利用者を移動させる訓練です。
- 訓練は、職員のみならず、**避難支援協力者の参加も得て行う**ようにしましょう。

訓練種類

## 立退き避難訓練

訓練  
イメージ

施設内移動 ⇒ 車両への移動、徒歩⇒  
避難先(利用者の支援)



## 屋内安全確保訓練







施設上階への移動(階段・エレベーター)⇒  
上階での利用者の支援



# 避難訓練の種類

【図上訓練、情報収集・情報伝達訓練・避難経路等の確認訓練】

- 図上訓練は、避難先までの立退き避難訓練や屋内安全確保訓練のシミュレーションを行う訓練です。情報収集・情報伝達訓練を合わせて行う場合があります。
- 情報収集・情報伝達訓練は、避難に必要な防災気象情報や避難情報を収集し、その情報を職員や避難支援協力者等に伝達する訓練です。
- 避難経路等の確認訓練は、現地を実際に見て、避難先や避難経路の安全性等について確認する訓練です。

訓練種類	図上訓練	情報収集・情報伝達訓練	避難経路等の確認訓練
訓練イメージ	<ul style="list-style-type: none"><li>・地図等を活用したイメージ訓練</li></ul>  	<ul style="list-style-type: none"><li>・日頃からの気象情報等の確認</li><li>・施設内での情報伝達訓練</li></ul>  	<ul style="list-style-type: none"><li>・避難先までの移動時間の確認</li><li>・大雨時における安全性の確認</li></ul>  

# 避難訓練の種類

【設備・装備品・備蓄品・持ち出し品等の確認訓練】

- 設備・装備品・備蓄品・持ち出し等の確認訓練は、避難に必要な設備や装備品の点検や備蓄品の在庫確認、避難先への持ち出し品を準備する訓練です。

訓練の種類

## 設備・装備品・備蓄品・持ち出し品等の確認訓練

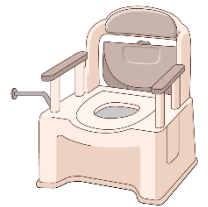
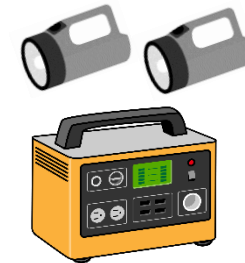
訓練イメージ

- ・利用者の避難に必要なものを確保
- ・避難先にて必要なものを確保
- ・移動しやすい場所にあるかの確認



## 【参考】屋内安全確保で避難するときの注意点

- 施設内に数日間過ごせる量の食糧や水、薬を備蓄しておきましょう。
- 停電、断水、ガスの供給停止に備え、施設内に数日間過ごすための懐中電灯、非常用電源、携帯用トイレ等を備蓄しておきましょう。



## 【参考】避難支援に必要な設備や機材等

○エレベーターの活用に加え、非常用電源の設置やエレベーターの代替えとなるスロープの設置、階段昇降機の設置、車椅子等を支援者が持ち上げることも想定した階段幅の確保しましょう。

○避難及び避難先における支援に必要な装備品や備蓄品を適切に確保しておきましょう。

※電力を必要としないものや蓄電池により稼働するもの



※車椅子や担架等を支援者が持ち上げることを想定した階段幅



非常用発電機

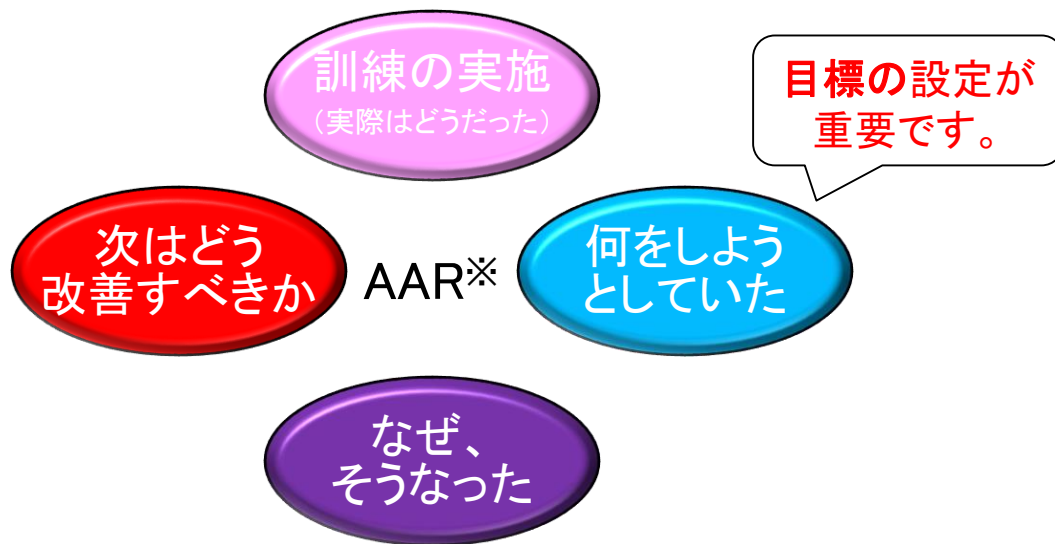


スロープ



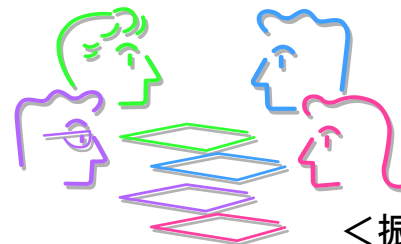
# 避難訓練における留意点

- 避難訓練は、**毎年実施することが重要**です。
- また、訓練結果は**市（所管課）に報告**する必要があります。
- 訓練終了後には、参加者により**訓練の振り返り（AAR※）を実施**し、必要に応じて**避難確保計画を見直すとともに、避難体制の改善につなげる**ようにしましょう。
- 訓練結果の振り返りを適切に実施するためには、**あらかじめ訓練の目的と目標を決めておく**ことが重要です。



5分程度でできるので、是非、やってみましょう。

1. 何をしようとしていた？
2. 実際はどうだった？
3. なぜそうなった？
4. 次はどう改善すべきか？



<振り返り(AAR)のイメージ>

※AAR(After Action Review)とは、訓練で明らかになった失敗や課題を当事者同士で議論し、次への改善や教訓として組織の災害対応に活かす「ふりかえり」です。

# タイムラインの作成と活用

- 情報収集や情報伝達、防災体制の確立、装備品等の準備、避難誘導の実施などの**防災行動を時系列で整理し、タイムラインを作成**しておきましょう。
- タイムラインは、日中や夜間といった避難する時間帯、施設の特性などに応じて、**複数のケースのものを作成**しておくことが必要です。

施設型タイムラインの設定		統括指揮者	情報連絡班	避難誘導班	装備品等準備班
発災までの時間の目安	防災気象情報、避難情報				
1~3日前	<b>■早期注意情報</b> (警戒レベル1) <b>■大雨注意報</b> (警戒レベル2) <b>■洪水注意報</b> <b>■高潮注意報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況把握、指揮</li> <li>体制確立の判断</li> <li>事前休業の判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象情報等収集</li> <li>施設職員への情報伝達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(避難誘導体制の確認)</li> <li>(避難ルートの確認)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備)</li> </ul>
9~12時間前		<ul style="list-style-type: none"> <li>状況把握、指揮</li> <li>施設職員等召集</li> <li>避難開始の判断</li> <li>(避難開始判断)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集</li> <li>施設職員や避難支援協力者への連絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難誘導体制の確認</li> <li>避難ルートの確認</li> <li>(避難誘導開始)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備</li> <li>移動用車両の手配</li> </ul>
4~6時間前	<b>■高齢者等避難</b> (警戒レベル3) <b>■洪水警報</b> <b>■氾濫警戒情報</b> <b>■大雨警報(土砂災害)</b> <b>■高潮注意報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況把握、指揮</li> <li>避難開始判断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象情報、水位情報、避難情報等の収集</li> <li>利用者家族等への連絡</li> <li>市町村等への連絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難誘導開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要配慮者等の装備品の装着</li> <li>移動用車両の確保</li> <li>避難先への持ち出し品等を運搬</li> </ul>
3時間前	<b>避難完了</b>				
2~3時間前	<b>■避難指示</b> (警戒レベル4) <b>■氾濫危険情報</b> <b>■高潮特別警報</b> <b>■土砂災害警戒情報</b> <b>■高潮警報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況把握、指揮</li> <li>避難先での施設利用者の支援の監督</li> <li>(緊急安全確保の判断)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村等への連絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難完了の確認</li> <li>避難先での施設利用者の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難先での持ち出し品等の管理</li> </ul>
発災直前	<b>■緊急安全確保</b> (警戒レベル5) <b>■大雨特別警報</b> <b>■氾濫発生情報</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急安全確保</li> </ul>			